



エコアクション21

環境経営レポート

(2023年2月1日～2024年1月31日)

目 次	
1. 環境経営方針	2 ページ
2. 組織の概要等	3～5ページ
3. 環境目標	6ページ
4. 環境目標とその実績	7ページ
5. 環境活動計画の内容	8ページ
6. 環境活動の取組結果の評価	9ページ
7. 次年度の取組内容	10ページ
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	11ページ
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	11ページ

発行:2024年4月11日

株式会社 工藤商店



1. 環境経営方針

環境経営方針

基本理念

この美しい地球の自然を守り、次世代に引き継ぐためには森林資源の確保は必要不可欠です。資源循環型社会を進めている古紙リサイクル業界において株式会社工藤商店では、古紙の仕入れ回収、選別、圧縮、梱包、輸送における事業活動を通じて、常に環境負荷の低減化を考え行動し、いつも元気で歩み続けます。

環境行動

1. エコアクション21に基づく環境経営システムに取り組んでいき、環境関連の法令、条例等を厳守(コンプライアンス)するとともに、地域・業界・顧客からの環境関連等の要求事項に配慮し、環境経営活動の持続的な改善を進め、その内容を広く一般へ公表します。
2. 環境経営目標及び行動計画として下記の項目を重点に設定し、必要に応じて見直し、環境経営方針に整合した行動を行って行きます。
 - 1) 古紙リサイクルの推進するために廃棄物を徹底的に分別するとともに、廃棄物排出量の削減を推進する。
 - 2) 二酸化炭素排出量軽減のために電力及び燃料使用量の削減等の省エネルギー化を推進する。
 - 3) 総排水量の削減のために適正な上水使用を推進する。
 - 4) リサイクル向上のためにグリーン購入を積極的に推進する。
3. 古紙リサイクルを通じ、資源循環型社会への状況を内外に報告する。
4. 株式会社工藤商店、全職員にこの環境経営方針を周知し、持続的改善をする。

2007年9月1日 策定

2010年2月1日 改定

2020年4月3日 改定

株式会社 工藤商店

代表取締役社長 工藤裕樹



2. 組織の概要等

1) 組織の概要

①事業所名および代表者名

株式会社 工藤商店

代表取締役社長 工藤 裕樹

②所在地

■ 本社 〒174-0063 東京都板橋区前野町4-40-18

■ 高島平営業所 〒175-0082 東京都板橋区高島平6-2-6

③環境管理責任者指名・担当者連絡先

環境管理責任者 取締役 島田 秀彦

連絡先 電話03(3965)5101 FAX03(3965)5105

メールアドレス hidehiko@kudogroup.co.jp

担当者 取締役 島田 秀彦

連絡先 電話03(3965)5101 FAX03(3965)5105

メールアドレス hidehiko@kudogroup.co.jp

④法人設立年月日

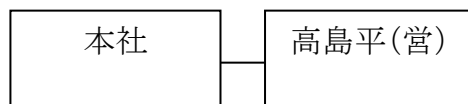
昭和34年12月

⑤資本金・売上高

資本金:1,600 万円

売上高:44,500 万円

⑥組織図



⑦事業活動の概要

本 社; 管理・営業

高島平営業所; 古紙回収・加工(圧縮・梱包)・出荷・販売業務

産業廃棄物収集運搬業務



2) 許可・登録の内容

① 東京都産業廃棄物収集運搬業

許可番号; 第13-00-035088号

許可年月日; 令和2年12月8日

許可の有効年月日; 令和7年12月7日

業の区分; 収集運搬(積替え保管を除く)

産業廃棄物の種類; 廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず

② 埼玉県産業廃棄物収集運搬業

許可番号; 第011-01-035088号

許可年月日; 令和3年2月8日

許可の有効年月日; 令和8年1月5日

業の区分; 収集運搬(積替え保管を除く)

産業廃棄物の種類; 廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず

3) 事業の規模・敷地等の状況

① 従業員数; 17名

② 事業所敷地面積; 1, 372.56㎡、延べ床面積; 881. 70㎡

③ 車両

A. 運搬車両の種類・台数;	15トン車	2台
	10トン車	1台
	7トン車	1台
	4トン車	1台
	3トン車	1台
	2トン車	1台
	4トンパッカー車	2台
	2トンパッカー車	1台

B. 作業車両の種類・台数;	LPGフォークリフト	2台
	LPGクランプリフト	2台



④主要設備

ベアラー 1台

破砕機 1台

4) 処理工程

古紙回収→破砕・プレス加工→梱包→出荷

5) 処理実績(2023年度)

処理量;古紙 16,300トン

(下3桁四捨五入。協同組合出版リサイクルセンター加盟企業分の20%を含)

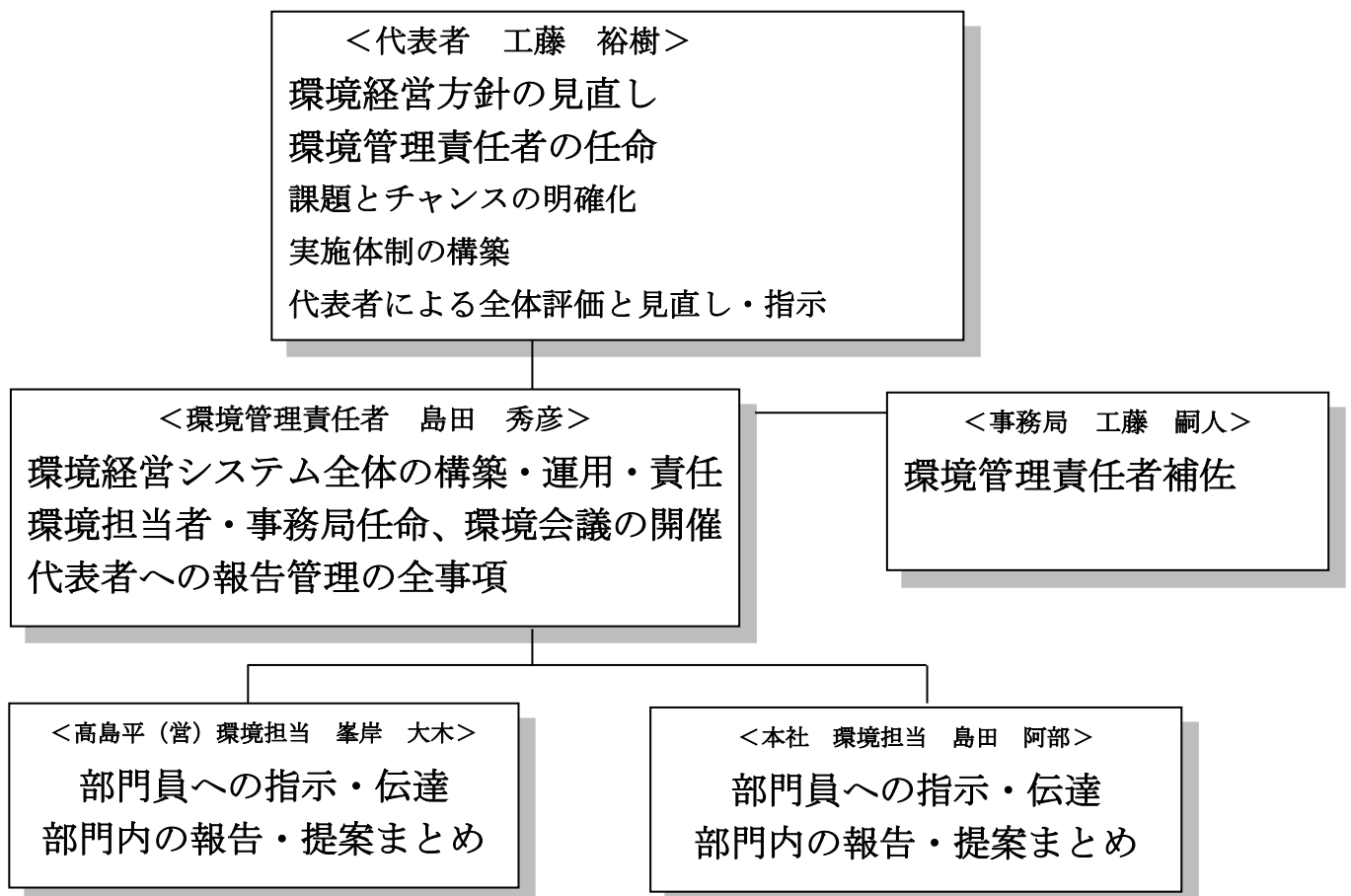
産業廃棄物の収集・運搬量;41,995 kg

廃棄物処理料金:見積もりによる。

6) 実施体制

エコアクション21の実施に伴う環境管理体制及びその役割は以下の通りです。

環 境 管 理 体 制





7) 認証・登録範囲

対象組織 全社組織を対象とする。

対象業務 本社； 管理・営業業務。

高島平営業所；古紙回収・加工(圧縮・梱包)・出荷・販売業務
産業廃棄物収集運搬業務

3. 環境経営目標 短期／2023年度 及び中長期(23～25年度)

(1) 廃棄物排出量の削減

2023年度	基準年比	1. 0%減
2024年度	〃	2. 0%減
2025年度	〃	3. 0%減

(2) 二酸化炭素排出量の削減

① 電力使用量の削減	2023年度	基準年比	1. 0%減
	2024年度	〃	2. 0%減
	2025年度	〃	3. 0%減

② 化石燃料使用量の削減	2023年度	基準年比	1. 0%減
	2024年度	〃	2. 0%減
	2025年度	〃	3. 0%減

(3) 水使用量の削減

① 水使用量の削減	2023年度	基準年比	1. 0%減
	2024年度	〃	2. 0%減
	2025年度	〃	3. 0%減

基準年：2020年度実績値とする。



4. 環境経営目標とその実績(評価)

環境目標	基準年度	環境目標 (対基準年)			実績	評価
	2020年	2023年	2024年	2025年	2023年	
1. 廃棄物排出量の削減	108,630kg	1.0%削減 107,544kg	2.0%削減 106,457kg	3.0%削減 105,371kg	61.3%削減 41,995kg	◎
2. 電力使用量の削減 (二酸化炭素排出量)	91,231kWh 50,542 (kg-CO2/)	1.0%削減 90,319kWh 50,037 (kg-CO2/)	2.0%削減 89,406kWh 49,531 (kg-CO2/)	3.0%削減 88,494kWh 49,026 (kg-CO2/)	40.1%削減 54,640kWh 30,271 (kg-CO2/)	◎
3. 化石燃料使用量削減 1) ガソリン (二酸化炭素排出量)	1,607ℓ 3,728 (kg-CO2/)	1.0%削減 1,591L 3,691 (kg-CO2/)	2.0%削減 1,575L 3,654 (kg-CO2/)	3.0%削減 1,559L 3,616 (kg-CO2/)	2.2%増量 1,643L 3,813 (kg-CO2/)	×
2) 軽油 (二酸化炭素排出量)	39,164ℓ 101,043 (kg-CO2/)	1.0%削減 38,772ℓ 100,033 (kg-CO2/)	2.0%削減 38,381ℓ 99,022 (kg-CO2/)	3.0%削減 37,989ℓ 98,012 (kg-CO2/)	21.3%削減 30,835ℓ 79,555 (kg-CO2/)	◎
3) LPG (二酸化炭素排出量)	6,283kg 18,849 (kg-CO2/)	1.0%削減 6,220Kg 18,661 (kg-CO2/)	2.0%削減 6,157kg 18,472 (kg-CO2/)	3.0%削減 6,095kg 18,284 (kg-CO2/)	43.7%削減 3,536kg 10,608 (kg-CO2/)	◎
4. 水使用量の削減	254m3	1.0%削減 251m3	2.0%削減 249m3	3.0%削減 246m3	54.7%削減 115m3	◎
5. グリーン購入の促進	2,833 点	1.0%向上 2,861 点	2.0%向上 2,890 点	3.0%向上 2,918 点	43.8%減少 1,591 点	×
CO ₂ 排出量合計	174,162 (kg-CO2/)	1.0%削減 172,421 (kg-CO2/)	2.0%削減 170,679 (kg-CO2/)	3.0%削減 168,937 (kg-CO2/)	28.6%削減 124,246 (kg-CO2/)	◎

◎ 1. 0%以上達成 △ 1. 0%未満の削減 × 1%以上の増加

購入電力の CO₂ 排出係数

購入電力のCO₂ 排出係数は、**0.554 kg-CO₂/kWh**を使用しました。



5. 環境経営計画の内容

短期（2023年）の環境目標及び中長期（2023～25年）の環境目標に対して以下の環境活動に取り組めます。

1) 廃棄物排出量の削減

- (1) 廃棄物を徹底的に分別する
 - ・できる限り分解し、分別を行う
- (2) 分別した廃棄物はできる限りリサイクルに取り組む
 - ・再利用の用途を常時模索する
- (3) 使い捨て製品の使用を極力抑える
 - ・再利用できる製品を使用する

2) 二酸化炭素排出量の削減（電力使用の効率化を構築）

- (1) 電力使用量の削減
 - ・不要時には必ず消灯
 - ・電気機器は主電源から切る
 - ・エアコン温度設定の見直し
- (2) 化石燃料使用量の削減
 - ・アイドリングストップ(待ち時間などはエンジンを切る)
 - ・エコドライブの徹底(急発進、急加速、空ぶかしなどをしない)
 - ・車両の定期点検(エンジンオイルなどは定期的に交換する)
 - ・計画的な行動による運転時間の縮小(無駄な走行を防ぐ)

3) 水使用量の削減（水道効率の構築）

- (1) 水使用量の削減
 - ・使い終わったら蛇口を閉める
 - ・使用時もこまめに蛇口を閉める
 - ・水道の定期点検

4) グリーン購入の推進

- (1) 事務用品を中心に資源再生製品の使用に勤める。

6. 環境経営と取組結果の評価

環境目標	取り組み項目	評価
1) 廃棄物排出量の削減		
	1. 廃棄物を徹底的に分別する	◎ 開梱作業を進めている
	2. 回収廃棄物はできる限りリサイクルに取り組む	◎ リサイクルできるものを常に模索
	3. 使い捨て製品の使用を極力抑える	◎ 会社で推奨している
2) 二酸化炭素排出量の削減		
(1) 電力使用量削減 (電力の効率化)	1. 不要時には必ず消灯	◎ 人感センサーも駆使している
	2. 電気機器は主電源から切る	◎ 退社時に行う
	3. エアコンの設定温度の適正	◎ 基本的には28℃に設定
	4. 不要時のプレス機電源を切る	◎ 自動にも切れが、長期に不要な時は鍵も抜く
(2) 化石燃料使用量削減	1. アイドリングストップ	◎ ストップ機能のあるトラックを導入
	2. エコドライブの徹底	◎ 日々確認
	3. 車両の定期点検(週一回)	◎ 担当が行っている
	4. 計画的な運行、運転時間の短縮	◎ ネットを駆使し、事前準備を行っている
3) 水使用量の削減		
(3) 水使用量の削減 (水道の効率化)	1. 使い終わったら蛇口を閉める	◎ こまめに閉める
	2. 使用時もこまめに蛇口を閉める	◎ 暑さ対策は、冷凍庫を購入し対策済
	3. 水道の定期点検(月一回)	◎ 定期的に点検している
4) グリーン購入の推進		
	1. グリーン商品の購入	◎ 日々、購入している

7. 次年度の取組内容

環境目標	取り組み項目
1) 廃棄物排出量の削減 3	1. 廃棄物を徹底的に分別する
	2. 回収廃棄物はできる限りリサイクルに取り組む
	3. 使い捨て製品の使用を極力抑える
2) 二酸化炭素排出量の削減	
(1) 電力使用量削減 (電力の効率化)	1. 不要時には必ず消灯
	2. 電気機器は主電源から切る
	3. エアコンの設定温度の適正
	4. 不要時のプレス機電源を切る
(2) 化石燃料使用量削減	1. アイドリングストップ
	2. エコドライブの徹底
	3. 車両の定期点検 (週一回)
	4. 計画的な運行、運転時間の短縮
3) 水使用量の削減	
(3) 水使用量の削減 (水道の効率化)	1. 使い終わったら蛇口を閉める
	2. 使用時もこまめに蛇口を閉める
	3. 水道の定期点検 (月一回)
4) グリーン購入の推進	
	1. グリーン商品の購入



8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

実施日：2024年4月11日

評価・見直し結果の報告と指示の概要：

環境経営目標：CO₂排出量は大きく削減出来たと思います。引続き取り組みをお願いします。

実施体制：何よりも安全第一を優先にしてください。効率的な運営を心掛けて下さい。

環境経営方針の見直しはありません。今期も良く取り組んでくれたと思います。引続きの取組をお願いします。古紙扱い量が減少して行く中、どの様に集めるかを創意工夫しながらそして、安全第一を優先し業務に推進して下さい。

以上